



## 江戸時代はイクメンだらけ!

『時代の激変を家族の団結で乗り越えていく姿を今では稀な三世代家族の暖かさとユーモアも交えて描きたいと思います』…幕末から明治にかけて書かれた実在する家計簿から生まれた家族の物語を映画化した森田芳光監督の言葉です。幕末を生きる三世代家族の在り方から、混迷した現代に生きる家族や社会へのヒントは見つかるでしょうか!?

### 家康が自身の教訓から学んだ「子育て論」とは



江戸幕府を築いた徳川家康は、自身の長男信康とは離れて暮らす時期が長く、育て役の家来にそのかさ敵と内通し、彼を切腹させてしまいます。このことを教訓に、家康は以降「立ち木のまゝに育てれば我儘に育つ」と、幼児期の教育が大事であると説くこととなります。

この家康の子育て論がベースとなり、日本初の本格的な育児書『小児必用記(1703年、香月牛山作)』が発行されました。



この当時は、父親が育児に参加することは当たり前でした。というより、むしろ父親が育児の主導を握っていたと言った方がいいかもしれません。特に武士の家庭では、生まれた嫡子(年長の男児)を立派な跡継ぎにすることが父親の務めでもあったため、育児に参加する“イクメン”が当たり前だった訳ですね。



夜中に子どもを抱いて寝る、仕事場に遊びに来た子どもに働いている姿を見せる、お話を聞かせる、などは日常によくある光景。手習い(学習)をはじめの時期も、「そろそろはじめさせたいな」と父親が思った頃に子どもと一緒に手習いを見学にいき子どもから「習いたい」と言い出すように仕向けるなど子どもの教育にも父親が積極的にかかわっていました。子育ては、まさに次世代の担い手の育成。社会全体の「当たり前」がそこにありました。

現代の育児の悩みの大半を占めている「生活習慣のしつけ」については厳しく躾けることはなく、大人がすることを見せながら、本人が「やりたい」と言い出したときにやりかたを教える、という風でした。この方法で1歳半でオムツが取れたり、2歳8カ月でお箸を持てるようになったという様子も記録に残されています。このように、江戸時代は、言い聞かせる「耳からの教育」ではなく、模範としての大人が行動しながら見せていく「目からの教育」が重視されていました。

子どもへの大らかな気持ちと信頼が、結果的に彼らの自主性をすくすくと育み、自ら生活習慣を身につけるようになったんですね。

## 親子すまいかた教室 第5回

### 不動産の謎

監修：明海大学不動産学部 助教授

#### 不動産の中身

日本では、不動産というと「土地」とそこに建っている「建物」の両方のことをさしています。それで、土地だけ買うことができたり、土地は他の人がもっていても、家だけ買うこともできるのです。

ところが、アメリカやフランスなどの国では、「土地」と「建物」は分けて考えず、一緒のものとして売ったり、買ったりしています。

これは、日本では土地や住まいが、車や宝石と同様に、個人の持ち物として自由に売ったり買ったりできるのに対し、他の国では、建物が短い期間に何度も建て替わることなく、場所と建物が一体として利用し続けていることが多いからです。

また、モンゴルの遊牧民のように自分の住まいを持ち歩き、時期によって住む場所を移動するので、土地をもつかたないかは、あまり意味がないという国もあります。

#### 価格の決め方

土地の値段は、ふつう「不動産鑑定(ふどうさんかんてい)」という調査が行われ、水道やガス、電気があるとか、接している道路が広いかどうか、土地が平坦かどうかとか、周りにどんな建物や施設が建っているかなど、いろいろな条件を総合的に考えて、適した値段が決まっています。

この値段を決めることができる人を不動産鑑定士といい、日本では資格が必要となります。

こうした専門的な知識をもつ人がいることで、誰でも公正な売り買いができるようになっています。

鑑定の方法として、周りの土地の値段を参考にする「取引事例比較法(とりひきじれいひかくほう)」と、貸した時にどのくらいの家賃がもらえるのか、その値段を参考にする「収益還元法(しゅうえきかんげんほう)」というものがあります。日本では、「取引事例比較法」が多かったのですが、近年では後者の方法をとることが多くなってきています。

また、土地と家の価格を比較すると、日本では土地の価値を重視する傾向がありますが、アメリカやフランスなどでは反対に、建物の価値を重視する傾向があり、建物の善し悪しで価格が変わっていきます。



#### 年収と住まいの価格

20~30年前、日本の住まいは高く狭いといわれていましたが、今は1軒あたりの面積は約97m<sup>2</sup>で、10年前に比べて約17m<sup>2</sup>も増え、アメリカやヨーロッパ諸国の平均的な広さに近づきつつあります。

しかし、価格は日本のほうが相変わらず高いようです。住まいの価格は、ひとつの目安として年収倍率(ねんしゅうばいりつ)というものがあります。

これは、新築する住宅の平均的な価格を一世帯の平均的な年収で割った数値です。どのくらいの期間に働いて得たお金で住宅が買えるのかを表しますが、欧米の国々より日本は、より長い期間分、働いて得たお金が、住まいの価格になっています。

# 瓦版4月号

## ～完成見学会報告～

3月は2棟の完成見学会を実施させて頂きました。  
ご来場頂きましたお客様、本当にありがとうございました！！

### ◇暖房お手本住宅◇



3月12日（土）・13日（日）の2日間、松本市大村にて『A様邸完成見学会』を開催いたしました。2日間で47組120名様のご来場をいただきました。

A様邸の見どころは、おくさまのアイデアのたっぷりの収納スペースや、オーダメイドの家具、そしてオンドルエコノの熱を利用した掘りごたつ。

こたつでゆっくりされいくお客さまがたくさんいらっしゃいました。

### ◇子育てをとことん楽しむ家 part2◇



3月26日（土）・27日（日）の2日間、安曇野市穂高にて『K様邸完成見学会』を開催いたしました。2日間で39組102名様のご来場をいただきました。

K様邸の見どころは、3人兄弟が仲良く暮らす工夫がいっぱい。手作りブランコやみんなで勉強できるマルチスペースはママや子供たちに大好評でした。

さらに今回は太陽光発電を採用。発電量が目に見えるモニターは自然と節電への意欲が沸きます。

# 日本の巨樹紹介

大樹からのエネルギーを求めて

## NO. 5 御鍋神社境内のサワラ

所在地：福島県岩瀬郡天栄村大字湯本二俣国有林  
指定：福島県緑の文化財 幹周：3.8m 樹高：42m 樹齢：520年（推定）

サワラ（榎）は、ヒノキ科ヒノキ属の針葉樹です。  
外見はヒノキによく似ていますが、柔らかいためヒノキのように柱などとしてはあまり用いられません。木曾五木の一つです。  
水湿に強く、ヒノキやアスナロのような臭いが無いので、柄杓や桶に用いられます。  
殺菌作用があるため松茸の下の敷物としても使われます。

二岐温泉よりさらに約3km、かなりの悪路をゆくりと登ると御鍋神社の鳥居が現れます。  
ここからブナ林の中を約5分、御鍋神社参道を徒歩にて行くこととなります。  
鍋が御神体として祀られている御鍋神社。  
ごんまりとした神社の屋根には、鍋ならぬどうみても五右衛門風呂の釜がぶら下がっています。

平将門が戦いに敗れ、密かに一族などがこの地に隠れ住んだという言い伝えがあり、平将門も祭神として祀られています。  
いかにも落人の里の雰囲気が漂ってきて、遠い過去にタイムスリップしたような気になってくるようです。



Hiroshi Takahashi

4月	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	1 日
2011年	大宮 上棟吉日	赤口	先負 地鎮祭吉日	仏滅	大宮 上棟吉日	赤口	先勝 地鎮上棟吉日	友引 上棟吉日	先負 三隣亡	仏滅	大宮	赤口	先勝 地鎮上棟吉日	友引	すまいるんく 発行日	仏滅	大宮 地鎮上棟吉日	赤口	先勝	友引 地鎮上棟吉日	先負 三隣亡	仏滅	大宮 地鎮祭吉日	赤口	先勝 地鎮上棟吉日	友引	先負	仏滅	大宮 地鎮上棟吉日	赤口	先勝